

2008年度後期「学生による授業評価」アンケート実施報告

「学生による授業評価」アンケート調査結果の概要を報告します。
データ分析は、集計・分析を委託した(株)教育ソフトウェアによるものです。

<調査概要>

【調査実施時期】	2008年 12月8日(月) ~ 2008年 12月19日(金)	
【調査対象】	姫路獨協大学の全学生	
【調査方法】	授業出席者に対して配付、授業時に回収	
【調査内容】	教員の授業、教員の授業姿勢、授業内容、授業満足度、受講態度の評価	
【総配付サンプル数】	29,845 枚	
【調査回収サンプル数】	17,396 枚	【回収率】 58.3 %

学部別	
外国語学部	3,984
外国語学科	1,066
ドイツ語学科	256
英語学科	1,316
中国語学科	278
日本語学科	758
韓国語学科	158
スペイン語学科	152

学年別	
1 年	6,497
2 年	6,040
3 年	3,028
4 年	1,481

性別	
男 性	10,868
女 性	6,306

法学部 2,804

経済情報学部 3,771

医療保健学部 4,748

 理学療法学科 1,163

 作業療法学科 1,032

 言語聴覚療法学科 558

 こども保健学科 893

 臨床工学科 1,102

薬学部 1,813

学生区分

 学部生 16,192

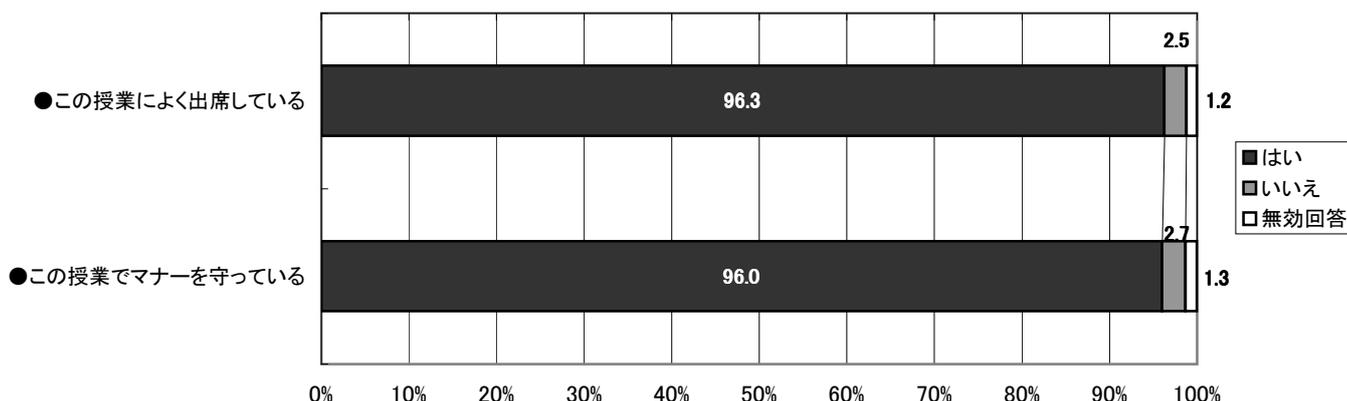
 留学生 858

 その他 33

<学生の受講態度について>

(回答者数 = 17,396)

- 『この授業によく出席している』についての自己評価は、「はい」が96.3%と圧倒的に高く、アンケート回答者については授業への出席率の高さがうかがえる。
- 『この授業でマナーを守っている(携帯電話、私語、遅刻、中途退室)』でも、「はい」は96.0%で出席者のほぼ全員が、マナーを守っていることがわかる。



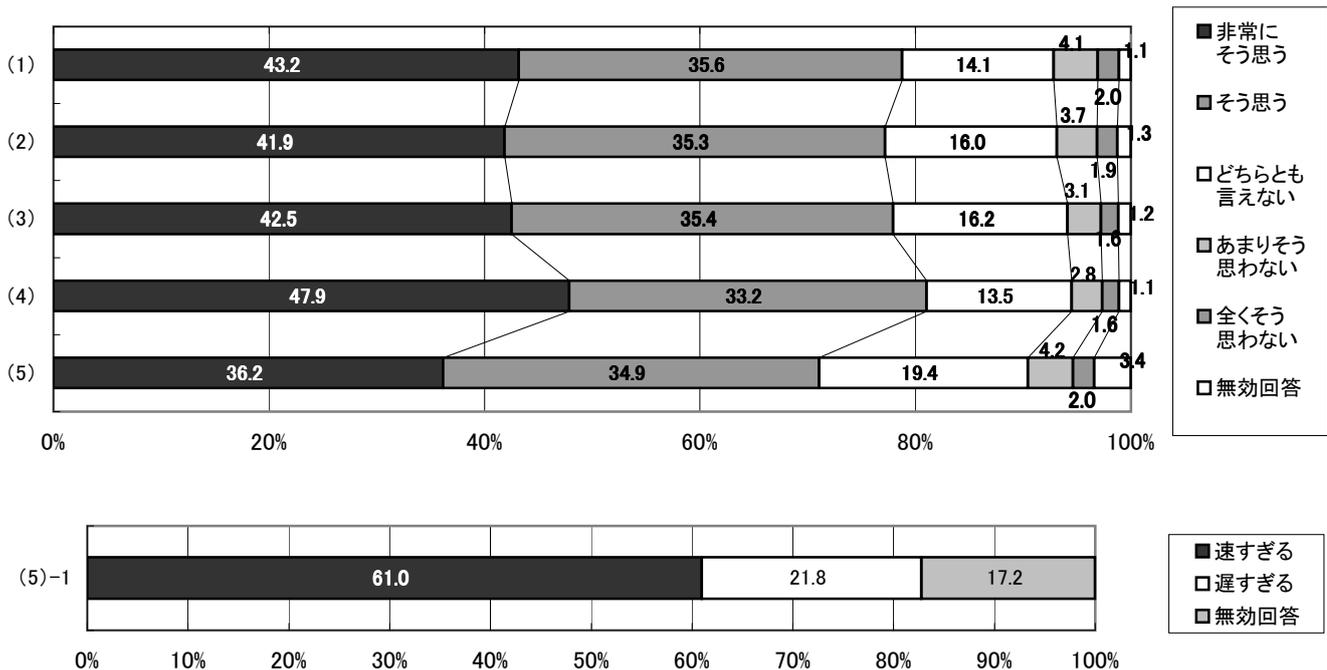
※体育科目は(1)～(3),(12)の質問文の内容を変更して実施。【()内参照】

<教員の授業に関する基本的な質問>

(回答者数 = 15,393)

- 『教員は、授業の開始・終了の時刻を守っている』という質問に対し、「非常にそう思う」と「そう思う」の合計は81.1%にもものぼっている。8割以上が『教員の時刻厳守』を高く評価している。
- その他設問についても、『非常にそう思う』と『そう思う』の合計が70%を超えているので、概ね、教員の授業に関する基本姿勢についての評価が高いことがわかる。
- 『この授業の進捗は適切である』という質問に対し、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」の合計は6.2%であった。その回答者の61%は授業の速度を『速すぎる』としている。

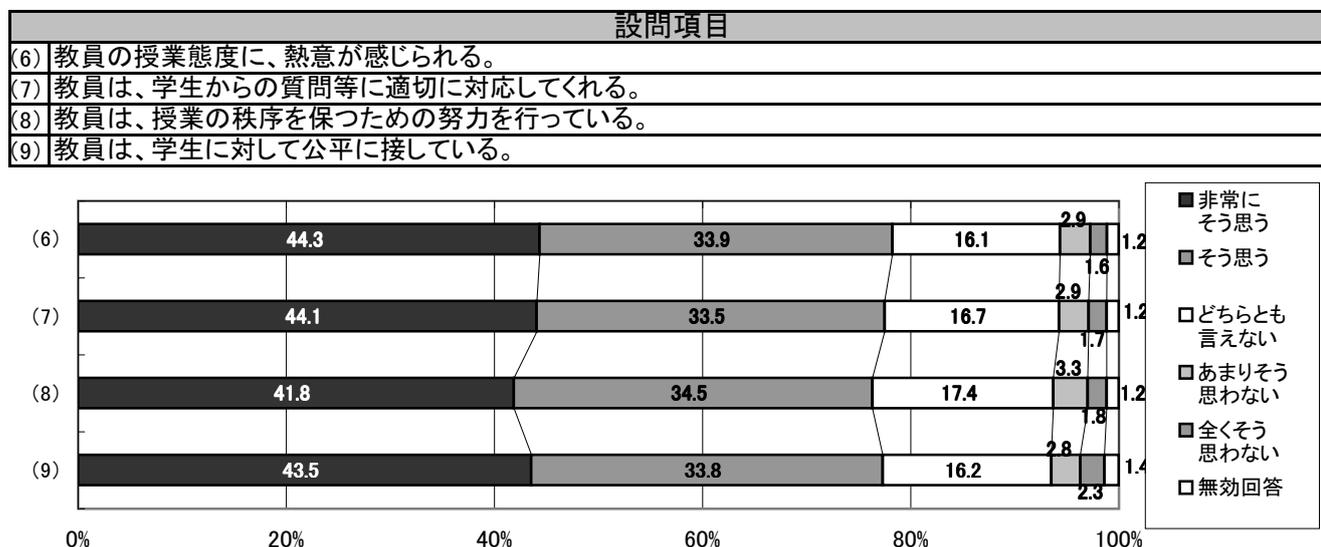
設問項目	
(1)	教員の話し方は明瞭で、授業内容がよく聞き取れる。 (教員の説明・指示の仕方はわかりやすかった。)
(2)	教員は、教材(教科書、レジュメ等)及び教育設備(ホワイトボード、パワーポイント等)を適切に活用している。 (教員は、授業での課題呈示(教材や運動の種類など)を適切に活用している。)
(3)	教員は、授業のテーマや目的を明確に示している。 (毎回、少しでも運動技術は上達している。)
(4)	教員は、授業の開始・終了の時刻を守っている。
(5)	この授業の進捗は適切である。 但し、2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない を選択した場合、 (5)-1 この授業の進捗は



<教員の授業に関する姿勢についての質問>

(回答者数 = 15,393)

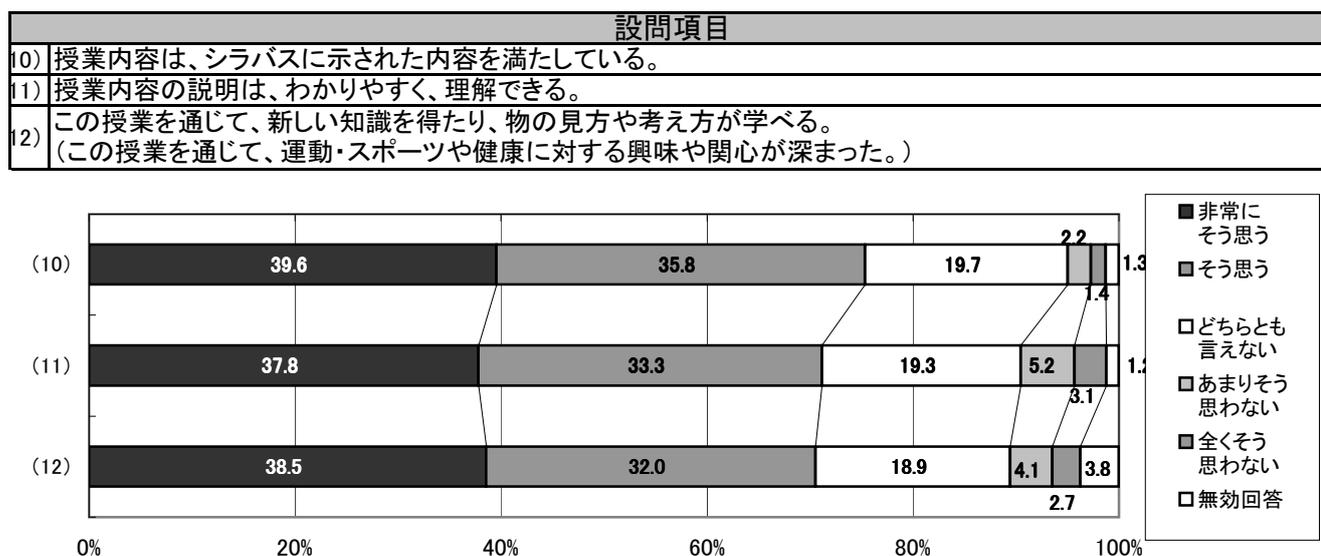
- 教員の授業に関する姿勢では、全ての設問においても、「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が75%以上になっており、学生の満足度が軒並み高い結果になった。
- また、各設問において「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」の合計が5%と前後という事で、不満を持った学生の少なさがわかる。



<授業の内容に関する質問>

(回答者数 = 15,393)

- 授業内容では、『授業内容は、シラバスに示された内容を満たしている』という質問に対し「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が75.4%と最も高い。
- 逆に、「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」の合計がもっとも高い設問は、『授業内容の説明は、わかりやすく、理解できる』で8.3%であった。「どちらとも言えない」が19.3%あるので、今後は「どちらとも言えない」と回答した学生も含めて満足度を高めていきたいところである。

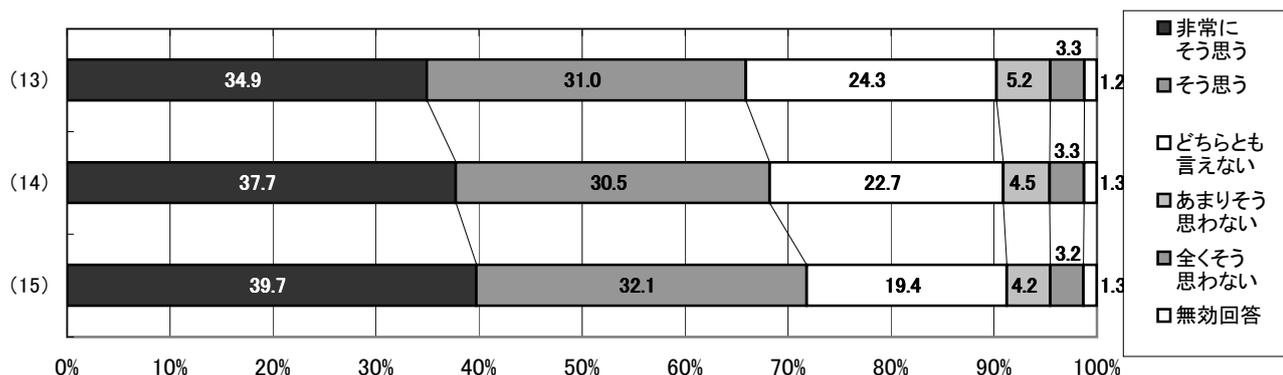


<授業に対する満足度に関する質問>

(回答者数 = 15,393)

- 授業に対する総合満足度では、『総合的にみて、この授業を受講して満足している』という質問に対し「非常にそう思う」が39.7%と授業に対する満足度に関する質問の中では最も高い。
- 『この授業に触発されて、さらに学習意欲を持つようになった』、『この授業を他の学生や後輩に推薦したいと思う』はともに、「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が70%をきっている設問で、他の設問に比べて満足度がやや低くなっている。

設問項目	
13)	この授業に触発されて、さらに学習意欲を持つようになった。
14)	この授業を他の学生や後輩に推薦したいと思う。
15)	総合的に見て、この授業を受講して満足している。



■データ分析

全体データについて-----

- 受講態度について
授業への出席や受講マナーはほぼ全ての学生の評価が高い事から、学生の意欲を伺う事ができる。
- 教員の授業に関する質問について
教員の時間厳守に関する評価は8割以上と最も高い。
授業進度については7割近くの学生が満足しているが、6%程度の満足していない学生の中で6割以上は、進度が速すぎるとしている。
- 教員の授業に関する姿勢について
姿勢については全ての設問で8割近くの学生が満足をしているという結果になった。
逆に満足していない学生は、5%程度しかいないという事で、概ねの学生は満足しているという事が言える。
- 授業内容について
授業内容については7割以上の学生が満足という結果になったが、学生の授業理解度や知的好奇心を高める授業を行う事で、さらに授業内容の満足度を高めることができる。
- 授業に対する満足度について
今回7割近くの学生が満足している結果になったが、もっと学生の学習意欲を高める工夫を行う事で総合満足度や推薦意欲につながっていく。
- 全体について
2008年度前期集計結果と比較すると、回収率が5%程度下がったが、全設問において前回の結果よりも「非常にそう思う」と「そう思う」に回答した満足度の高い学生の割合が増えている。
これは、過去の授業アンケートの結果を踏まえ、改善に繋げようとしている姿勢の表れと見てとることができる。